

出雲商工会議所管内 業種別景況（令和2年1月～3月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成31年1月～3月期）と比べた 今期（令和2年1月～3月期）の状況				前期（令和元年10月～12月期）と比べた 今期（令和2年1月～3月期）の状況				今期（令和2年1月～3月期）と比べた 来期（令和2年4月～6月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	18.3	25.0	56.7	△ 38.3	15.0	16.7	68.3	△ 53.3	6.8	13.6	79.7	△ 72.9
2 採 算	12.1	44.8	43.1	△ 31.0	8.5	32.2	59.3	△ 50.8	6.8	23.7	69.5	△ 62.7
3 仕 入 単 価	27.6	65.5	6.9	20.7	14.0	77.2	8.8	5.3	21.1	73.7	5.3	15.8
4 従 業 員 数					3.5	91.2	5.3	△ 1.8	6.9	86.2	6.9	0.0
5 資 金 繰 り					3.8	59.6	36.5	△ 32.7	1.9	38.5	59.6	△ 57.7

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		15.3	39.0	45.8		△ 30.5		22.0	50.8		27.1	-5.1		3.4

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	67.7	6.5	4.8	79.0	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	1.6	11.3	6.3	19.4
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	4.8	1.6	6.5	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	3.2	3.2
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	1.6	1.6	3.2	6.5	10 事 業 資 金 の 確 保 難	1.6	14.5	9.5	25.8
4 原 材 料 高 及 び 不 足	4.8	8.1	4.8	17.7	11 需 要 の 停 滞	4.8	17.7	20.6	43.5
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	3.2	1.6	4.8	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	6.5	1.6	3.2	11.3	13 そ の 他	6.5	4.8	6.3	17.7
7 人 件 費 の 増 加	0.0	9.7	0.0	9.7	無 回 答	4.8	16.1	34.9	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《 製 造 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成31年1月～3月期）と比べた 今期（令和2年1月～3月期）の状況				前期（令和元年10月～12月期）と比べた 今期（令和2年1月～3月期）の状況				今期（令和2年1月～3月期）と比べた 来期（令和2年4月～6月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	33.3	44.4	22.2	11.1	33.3	11.1	55.6	△ 22.2	22.2	22.2	55.6	△ 33.3
2 採 算	44.4	44.4	11.1	33.3	22.2	33.3	44.4	△ 22.2	22.2	33.3	44.4	△ 22.2
3 仕 入 単 価	33.3	66.7	0.0	33.3	11.1	77.8	11.1	0.0	11.1	77.8	11.1	0.0
4 従 業 員 数					11.1	88.9	0.0	11.1	11.1	77.8	11.1	0.0
5 資 金 繰 り					25.0	62.5	12.5	12.5	12.5	50.0	37.5	△ 25.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		33.3	33.3	33.3		0.0		44.4	44.4		11.1	33.3		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	66.7	0.0	11.1	77.8	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	44.4	22.2	66.7
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	11.1	11.1	0.0	22.2	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	11.1	0.0	11.1
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	0.0	11.1	11.1	11 需 要 の 停 滞	0.0	0.0	33.3	33.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	11.1	11.1	22.2	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	22.2	0.0	0.0	22.2	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	0.0	22.2	0.0	22.2	無 回 答	0.0	0.0	11.1	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ コロナの影響が大きく、それに対しては雇用調整助成金の活用や、国金からの無利息無担保の融資を受ける予定。とにかく支出をおさえ、現金を確保することに今は重点を置く。
- ・ コロナウイルスの影響により今後もイベント中止が続いた場合の不安がある
- ・ 3月迄は受注済みを生産しているが、取引先の受注減少の為、4月以降受注減となる。

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成31年1月～3月期）と比べた 今期（令和2年1月～3月期）の状況				前期（令和元年10月～12月期）と比べた 今期（令和2年1月～3月期）の状況				今期（令和2年1月～3月期）と比べた 来期（令和2年4月～6月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	12.5	12.5	75.0	△ 62.5	37.5	0.0	62.5	△ 25.0	12.5	25.0	62.5	△ 50.0
2 採算	25.0	37.5	37.5	△ 12.5	25.0	25.0	50.0	△ 25.0	12.5	37.5	50.0	△ 37.5
3 仕入単価	37.5	62.5	0.0	37.5	0.0	100.0	0.0	0.0	12.5	87.5	0.0	12.5
4 従業員数					0.0	100.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0
5 資金繰り					0.0	85.7	14.3	△ 14.3	0.0	57.1	42.9	△ 42.9

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		25.0	37.5	37.5		△ 12.5		37.5	37.5		25.0	12.5		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	75.0	0.0	12.5	87.5	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	12.5	12.5	25.0
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	12.5	12.5
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	12.5	12.5	0.0	25.0	11 需要の停滞	0.0	25.0	12.5	37.5
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	12.5	12.5	12.5	37.5	13 その他	0.0	25.0	0.0	25.0
7 人件費の増加	0.0	0.0	0.0	0.0	無回答	0.0	12.5	37.5	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 建材等、入荷困難なものも有り受注に影響し始めている（コロナ）
- ・ 2019年9月までは駆け込み工事が多かったが、10%に消費税率が引上げされてからはユーザーの動きが鈍くなり、今回のコロナウイルスで追い打ちをかけて問い合わせの連絡が少なくなっている。

《卸 ・ 小 売 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成31年1月～3月期)と比べた 今期(令和2年1月～3月期)の状況				前期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年1月～3月期)の状況				今期(令和2年1月～3月期)と比べた 来期(令和2年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	27.8	5.6	66.7	△ 38.9	5.6	27.8	66.7	△ 61.1	5.6	11.1	83.3	△ 77.8
2 採 算	5.6	38.9	55.6	△ 50.0	0.0	35.3	64.7	△ 64.7	5.9	17.6	76.5	△ 70.6
3 仕 入 単 価	27.8	55.6	16.7	11.1	17.6	58.8	23.5	△ 5.9	11.8	76.5	11.8	0.0
4 従 業 員 数					0.0	93.8	6.3	△ 6.3	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資 金 繰 り					0.0	66.7	33.3	△ 33.3	0.0	50.0	50.0	△ 50.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		11.1	38.9	50.0		△ 38.9		0.0	77.8		22.2	-22.2		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	68.4	15.8	5.3	89.5	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	5.3	5.3	10.5
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	5.3	5.3	10.5	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	5.3	5.3
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	5.3	5.3	10 事 業 資 金 の 確 保 難	5.3	10.5	5.3	21.1
4 原 材 料 高 及 び 不 足	5.3	15.8	0.0	21.1	11 需 要 の 停 滞	5.3	15.8	21.1	42.1
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	5.3	0.0	5.3	10.5	13 そ の 他	5.3	5.3	10.5	21.1
7 人 件 費 の 増 加	0.0	15.8	0.0	15.8	無 回 答	5.3	10.5	31.6	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 商品の生産遅れ、輸入の遅れ (部品の不足、中国生産が多い為入荷の不確定が出ている)。訪問による販促が出来にくい状態になっている
- ・ コロナウイルスにより客数が減少し、売上の悪化となっている。今は従業員の健康管理に重点を置いている。
- ・ コロナで確実に客足が遠のいている。集客策をうとうにも、こちらにも遠慮がある。

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成31年1月～3月期)と比べた 今期(令和2年1月～3月期)の状況				前期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年1月～3月期)の状況				今期(令和2年1月～3月期)と比べた 来期(令和2年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	7.7	46.2	46.2	△ 38.5	15.4	23.1	61.5	△ 46.2	0.0	16.7	83.3	△ 83.3
2 採算	0.0	53.8	46.2	△ 46.2	7.7	38.5	53.8	△ 46.2	0.0	23.1	76.9	△ 76.9
3 仕入単価	23.1	76.9	0.0	23.1	15.4	84.6	0.0	15.4	38.5	61.5	0.0	38.5
4 従業員数	/	/	/	/	7.7	84.6	7.7	0.0	7.7	84.6	7.7	0.0
5 資金繰り	/	/	/	/	0.0	53.8	46.2	△ 46.2	0.0	30.8	69.2	△ 69.2

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I (業況判断指数) とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		8.3	58.3	33.3		-25.0		33.3	33.3		33.3	0.0		8.3

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	71.4	0.0	0.0	71.4	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	0.0	0.0	0.0
2 大企業進出による競争激化	0.0	14.3	0.0	14.3	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	28.6	13.3	42.9
4 原材料高及び不足	7.1	7.1	0.0	14.3	11 需要の停滞	0.0	7.1	26.7	35.7
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	7.1	0.0	7.1	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	0.0	0.0	0.0	0.0	13 その他	7.1	0.0	6.7	14.3
7 人件費の増加	0.0	0.0	0.0	0.0	無回答	14.3	35.7	53.3	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ キャンセルが生じているわけではないが、4月に入りお客が減っているように感じている。今後はもっと減るかもしれないと心配している。
- ・ コロナウイルスの影響により入店制限をしたり、体調の悪い方のお断りをしていこうと思う。
- ・ コロナウイルスにより外出減少で、利用が約9割減少で売上減となっている。又、5月の連休もこの状態が続きそうなので、資金面に不安がある。

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成31年1月～3月期）と比べた 今期（令和2年1月～3月期）の状況				前期（令和元年10月～12月期）と比べた 今期（令和2年1月～3月期）の状況				今期（令和2年1月～3月期）と比べた 来期（令和2年4月～6月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	8.3	25.0	66.7	△ 58.3	0.0	8.3	91.7	△ 91.7	0.0	0.0	100.0	△ 100.0
2 採 算	0.0	50.0	50.0	△ 50.0	0.0	25.0	75.0	△ 75.0	0.0	16.7	83.3	△ 83.3
3 仕 入 単 価	20.0	70.0	10.0	10.0	20.0	80.0	0.0	20.0	30.0	70.0	0.0	30.0
4 従 業 員 数					0.0	90.9	9.1	△ 9.1	0.0	81.8	18.2	△ 18.2
5 資 金 繰 り					0.0	33.3	66.7	△ 66.7	0.0	10.0	90.0	△ 90.0

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		8.3	25.0	66.7		△ 58.3		16.7	41.7		41.7	-25.0		8.3

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	58.3	8.3	0.0	66.7	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	8.3	8.3	0.0	16.7
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	8.3	8.3	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	16.7	25.0	41.7
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	0.0	16.7	16.7	11 需 要 の 停 滞	16.7	41.7	8.3	66.7
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	0.0	0.0	0.0	0.0	13 そ の 他	16.7	0.0	8.3	25.0
7 人 件 費 の 増 加	0.0	8.3	0.0	8.3	無 回 答	0.0	16.7	33.3	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 休業を考えているが、先行きがとても不安。
- ・ コロナの影響により4月は大打撃。
- ・ コロナによる影響で店内飲食より持ち帰りが増えたが、これから先、自粛要請が出た時の営業が心配。